

事業評価シート（令和5年度）

担 当 課	まちづくり推進課
事 業 名	①忍びの町ひがしあがつま推進事業

<令和5年度（令和4・5（上半期）年度事業分）>

総合戦略 対応ページ: 51頁

【個別判定】

評価の基準（個別評価項目）			評価判定	委員個人の意見
1	KPIの達成	取り組み事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☒ B 効果は高い ☐ C 効果は低い	・イベント等に何人集客できるかをカウントできると良い。 ・もう少しどの事業に金額を使うか再検討してほしい。 ・町民に対するPR強化をお願いしたい。 ・事業費の割に参加者が少ない。更なる周知が必要。 ・より多くの人、団体が参画し、地域全体が盛り上がると良い。 ・ふるさと祭りに真田忍者の行列やイベントをしてほしい。 ・町民を含めてPR強化をお願いしたい。 ・来年度に国際忍者学会が当町を中心に開催されるためそれに合わせて更なるPRをしてほしい。 ・観光面でも重要な事業と思う。 ・忍び登山、ふるさと花火の忍びブース位しか町民は知らないのではないかと。より多くの町民が先ずは参加できるように、そして、町外の観光客が参加したくなる事業になるよう、今後に期待したい。 ・多額の予算をかける事業であるため、参加者・協力者の増加が求められる。各イベントの運営を大勢の人と協議し充実した取り組みを望む。 ・本事業の将来像を町民に示し、理解・協力を得てほしい。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☐ A 妥当性・必要性が極めて高い ☒ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☐ A 有効性・効率性が極めて高い ☒ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。（優先比較が困難な場合は、B）	☐ A 優先度が極めて高い ☒ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。（外郭団体等を含めて）	☒ A 重複なし ☐ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☐ A 期待感が極めて高い ☒ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	

【総合判定】

☒ 現状維持
☐ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

忍者というコンテンツは、町を知ってもらう手法としてインパクトがあり、観光面からみても重要な事業と思われる。昨年度より開始した事業であり、ヒアリングに於いて様々な取り組みが進められていることが確認できた。町民に対しても更なる周知を進め、イベント等の参加者・協力者・協力団体を増やす取り組みを進めてほしい。対外的周知も進め、町に興味を持ってもらい様々な交流に繋がるよう、今後の事業発展に期待する。

事業評価シート（令和5年度）

担 当 課	農林課
事 業 名	⑨ひがしあがつま森林創生プロジェクト事業

<令和5年度(令和4・5(上半期)年度事業分)>

総合戦略 対応ページ: 53頁

【個別判定】

評価の基準(個別評価項目)			評価判定	委員個人の意見
1	KPIの達成	取り組み事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☐ B 効果は高い ☒ C 効果は低い	・普及啓発イベントをより検討して盛り上げてほしい。 ・雇用の確保について検討してほしい。 ・林業ができる人が減っている今、大切な事業である。 ・東吾妻町にとって森林は貴重な資源である。 ・森林経営計画による森林整備を計画どおり進めてほしい。 ・森林組合等と連携をして進めてほしい。 ・切った木材をバス停の停留所の小屋に使う等検討してほしい。 ・説明の内容について知らないことが多い。雇用ができる程度の林業振興を期待する。 ・森林の手入れをする指導も併せて行ってほしい。 ・森林の荒廃に大変困っている。 ・環境整備の人がしっかり収入が得られる事業を作ってほしい。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☐ A 妥当性・必要性が極めて高い ☒ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☒ A 有効性・効率性が極めて高い ☐ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。(優先比較が困難な場合は、B)	☐ A 優先度が極めて高い ☒ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。(外郭団体等を含めて)	☒ A 重複なし ☐ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☐ A 期待感が極めて高い ☒ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	

【総合判定】

- ☐ 現状維持
☒ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

町にとって森林は貴重な資源であるが、森林の荒廃が懸念されている。森林経営計画による計画的な森林管理を促進するとともに、マルシェの充実や体験会の実施、木工品の販売をとおして森林保全の大切さを広くPRしてほしい。森林環境整備の担い手不足対策として、勉強会の開催や生計が維持できる仕事の構築(起業支援を含む)が必要であり、森林組合等とも連携して取り組んでほしい。

事業評価シート（令和5年度）

担 当 課	企画課
事 業 名	⑳新たなバス輸送サービス事業

<令和5年度(令和4・5(上半期)年度事業分)>

総合戦略 対応ページ: 55頁

【個別判定】

評価の基準(個別評価項目)			評価判定	委員個人の意見
1	KPIの達成	取り組み事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☒ B 効果は高い ☐ C 効果は低い	・マスタープランの計画どおりに進めてほしい。 ・今後、坂上地区以外にもデマンドバスの運行を開始してほしい。 ・土日もデマンドバスを運行してほしい。 ・高齢者(歩行困窮者)への福祉車両と一部統合した事業についても検討してほしい。 ・バス交通だけでなく、広く関連事業と手を組み発展させてほしい。 ・高山村からベイシアのような直行便もほしい。 ・マスタープランの計画どおりに進んでいるが、より柔軟にスケジュールも見直ししながら進めてほしい。 ・少子高齢化の進む町にとって、交通問題は深刻である。マスタープランの策定が済み、オンデマンドバス等の取り組みが始まったが、より良いことを考え、更なる改善に努めてほしい。 ・住民の期待度も高く、大変な事業であるが、着実に進めてほしい。 ・バス、電車の利便性で人口も増えていくと思うので継続してほしい。 ・上信道植栗インターのバスターミナル付近に、地域の直売所等の増設を願う。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☒ A 妥当性・必要性が極めて高い ☐ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☐ A 有効性・効率性が極めて高い ☒ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。(優先比較が困難な場合は、B)	☒ A 優先度が極めて高い ☐ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。(外郭団体等を含めて)	☒ A 重複なし ☐ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☒ A 期待感が極めて高い ☐ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	

【総合判定】

☒ 現状維持
☐ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

住民の期待も高く、少子高齢化の進む当町にとって、今後より重要な事業と考える。

マスタープランの策定が済み、デマンドバスの運行が一部で始まるなど取り組みが進んでいるが、デマンドバスの町内全域への普及等についても検証を重ね、課題も確認しながら検討を進めてほしい。

高齢者が町に住み続けるためにも必要と考える。

また、上信自動車道のバスターミナル整備については、町民に丁寧な説明を行い、意見も取り入れて計画をしていくことを求める。

事業評価シート（令和5年度）

担 当 課	保健福祉課
事 業 名	㊤子ども相談支援事業

<令和5年度(令和4・5(上半期)年度事業分)>

総合戦略 対応ページ: 56頁

【個別判定】

評価の基準(個別評価項目)			評価判定	委員個人の意見
1	KPIの達成	取り組み事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☐ B 効果は高い ☐ C 効果は低い	・マザー＆チャイルドの事業の続きとしてペアレントキッズ事業は大切に継続を望む。 ・親御さんの不安の解消の話しが伺えて良い事業だと思った。 ・学校教育課等関係機関とも連携をして取り組んでほしい。 ・ペアレントキッズのような支援が大人までフォローできるようにしてほしい。 ・発達障害の児童・親だけでなく、より多くの保護者の不安を解消する場面まで広げてほしい。 ・少子化が激しい本町において、子育て支援は最優先事業の一つである。 ・子どもの発育は親の心配事。色々相談支援ができる体制を築いてほしい。保健福祉課だけでなく、働く場所、地域コミュニティーなど全体で考えてみてはどうか。 ・子、親のためにも支援を続ける必要がある。 ・子どもを増やすことが、町の未来で最も大切なので、最も重要な事業と思う。町全体で行ってほしい。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☒ A 妥当性・必要性が極めて高い ☐ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☐ A 有効性・効率性が極めて高い ☒ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。(優先比較が困難な場合は、B)	☐ A 優先度が極めて高い ☒ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。(外郭団体等を含めて)	☒ A 重複なし ☐ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☐ A 期待感が極めて高い ☒ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	

【総合判定】

☒ 現状維持
☐ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

少子化の進む当町にとって子ども及び保護者に対する支援は最優先事業の一つと考える。群馬県の事業終了後の年齢が対象であり、保護者からも必要とされている。切れ目のない支援のためにも今後も継続が必要と考える。

現在は発達障害の家族を対象としているが、支援を必要としている人が気軽に相談できる体制の構築についても検討し、今よりさらに寄り添った支援を期待する。